

<週報No.2, 855> 2,966 回例会

2018年9月21日(金)

◆会長/古屋 了 ◆幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 S A A

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

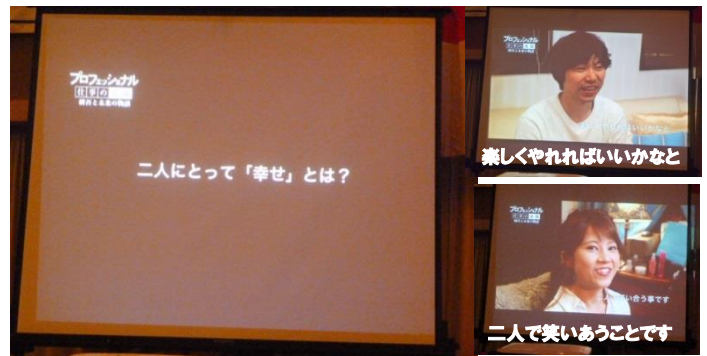
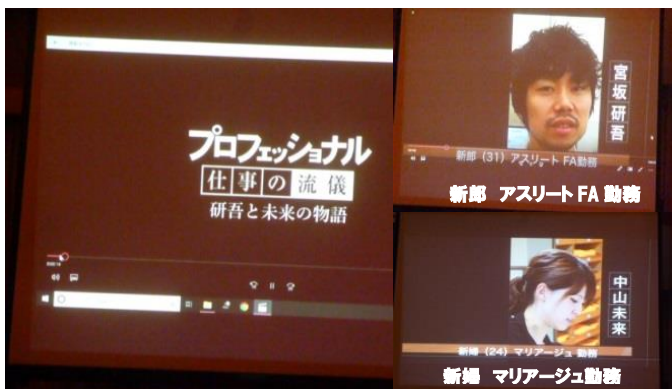
本 日	63.64%	17名欠席
前 回 訂 正	80.00%	9名欠席

◆ラッキーナンバー=No.31 山本實君

◆ニコニコボックス=●古屋了君=加藤幹事欠席で心細いです。山田副幹事よろしくお願ひします。●北川和彦君=ガバナー補佐訪問、欠席し申し訳ありません。●飯田兼光君=結婚記念日のお花をいただいてありがとうございました。本日は担当例会です。よろしくお願ひします。●瀬在昭男君=本日は担当例会です。よろしくお願ひします。●山科光一君=9月入り雨の日が多くなっていますが、晴れてニコニコできることを願ひて。●西方会=9/20 西方会開催しました。●山本實君=西方会欠席すみません。ラッキーナンバーに当て。

◆会長告知・古屋了会長=サンマやキノコにと秋の本格化を感じる季節になりました。先日は伊藤ガバナー公式訪問例会お疲れさまでした。特にガバナーにはクラブ戦略計画の大切さをご指導いただきました。今晚は直前会長、会長エレクトとその打ち合わせをします。来年、再来年に向けて繋げていきたいと思ひます。

さて、先日稀有なご縁の結婚式がございました。新婦は私の会社の社員、新郎は本日欠席されている山崎会員の会社の社員というカップルの結婚式です。その式で上映されたサプライズビデオをご覧になっていただき、会長告知とさせていただきます。



◆幹事報告・山田副幹事=加藤幹事欠席のため代わって報告致します。①本日はクラブ協議会、クラブフォーラムです。会計理事、会報・広報・雑誌・65周年委員会が担当です。②先週の理事会で3名の会員の出席免除者が承認されました。運用は10月からです。③来年5月に諏訪地区でチャリティーゴルフを行います。詳細がわかり次第報告致します。④10月14日に開催される2600地区大会の案内を通知させていただきました。多くの会員の皆様の参加をお願いします。⑤9月30日にバスハイク例会を開催するため来週28日の例会はありません。⑥ゴルフ同好会による親睦コンペの締め切りは9月28日までです。⑦9月7日はガバナー公式訪問例会でした。礼状が届いていますので回覧します。⑧9月6日未明に起きた北海道地震に際し、八幡会員が札幌に転勤された大岩元会員を心配し安否を確認したところ、自宅も会社も被害はなかったとのことでした。会員の皆様に宜しくお伝えくださいとのこと。⑨先週14日は幹事からの連絡が不徹



底のために多くの会員皆様に例会会場まで足を運ばせてしまい申し訳ございませんでした。お詫びとして本日は松茸入り茶碗蒸しを付けさせていただきます。

◆クラブ協議会 決算報告・監査報告《2017-2018年度諏訪ロータリークラブ会計報告》について、理事(会計)の山科光一会員より詳細説明があり、藤森郁男前年度監事より監査報告がなされ、前年度決算が拍手をもって承認されました。



◆クラブフォーラム 会報・雑誌・広報・65周年委員会 ●飯田兼光委員長=皆さんは「ロータリーの友月間」がいつごろからできたか、どうしてできたかご存知でしょうか?

2015-16年度、国際ロータリー(RI)の特別月間が変更になりました。それに伴い4月の雑誌月間がなくなりましたが、多くのロータリアンから「雑誌月間」は残せないでしょうか?という声が寄せられました。そこで「ロータリーの友」委員会、ならびに同理事会でロータリーの特別月間として、「ロータリーの友月間」を日本独自の月間として新設することになりました。

「雑誌月間」ではなく「ロータリーの友月間」としたのは、『ロータリーの友』誌に焦点を当てることによって、様々なロータリー情報について、『ロータリーの友』誌から知って頂く機会になればと考えたからだそうです。



さて、『ロータリーの友』誌のあゆみですが、1952(昭和27)年4月、第60地区の大会が開催され、同年7月に迎える新年度

(1952-53年度)から日本の地区は東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されましたが、その大会で日本の2地区で共通の雑誌を発行する、との決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたのです。①1953(昭和28)年1月から毎月発行する、②価格は50円とするが、広告を取って100円分の内容のある雑誌とする、③名前を『ロータリーの友』とすること、が決定されました。由来は岐阜クラブの遠藤健三氏の名称が採用されたそうで、当時の女性雑誌「主婦の友」にあやかって命名されたと言われていますが、「ビールの友」からきているという説もあるそうです。

創刊当初の発行部数は、3300部にすぎませんでしたが、64年後の今、2018年9月号では約9万5500部の発行部数で、今年の9月号で通巻789号になっています。

1972(昭和47)年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけました。左に開くと横書き、右に開くと縦書き、という形の雑誌になりました。

2003年1月に創刊50周年を迎えるにあたり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい50年のスタートにふさわしい新鮮な雑誌にするにはどのようにすればいいのか、2001年秋から検討に入り、2002年7月号から誌面を一新しました。サイズをB5判からA4変型判に変更。

カラー写真のページを巻頭にもってくる等、親しみやすい『ロータリーの友』誌を目指しました。

『ロータリーの友』誌は、一般社団法人ロータリーの友事務所によって発行・運営されています。

「ロータリーの友委員会」は、ロータリー地域雑誌発行の不可欠な条件の一つとして設けられている委員会で、委員長は地区ガバナーに対し、『ロータリーの友』誌発行について責任を負うと同時に、一般社団法人ロータリーの友事務所を包括的に監督します。ロータリーの友事務所の理事会の意思決定に添い、職員の方々が発行しています。

現在、事務所の職員数は10名です。所長は東京みなとロータリークラブの渡辺誠二さん。編集長の野崎恭子さんを含めた編集員6名、管理員3名で運営しています。先日東京出張があり、その機会に事務所にお邪魔し、非常にお忙しい中、編集長に取材をさせて頂きました。実際にお話を伺うまで、いろんなご苦勞、ご努力をされていることが全く分かりませんでした。三井会員がことあるたびに、『ロータリーの友』誌を読むようにとおっしゃっている理由が、この取材を通じ、理解することが出来ました。

最後に野崎編集長からのメッセージです。

『ロータリーの友』はロータリアンを結ぶ懸け橋です。

『ロータリーの友』には、ロータリーに関する様々な情報が掲載されており、『ロータリーの友』はロータリア



ンの活動や意見からなる雑誌です。『ロータリーの友』を読み、『ロータリーの友』をご活用ください。また、奉仕活動をされたら『ロータリーの友』に、原稿とお写真をお送りください。

より良い『ロータリーの友』にするために、皆さまのご協力をお願いいたします。」

◆今後の例会日程

9月30日	日	家族例会(バスハイク)
10月5日	金	クラブフォーラム(米山特別月間)
10月12日	金	準法定休日

執筆担当 瀬在昭男